

九州女子大学・九州女子短期大学中期計画 年度計画一覧〔平成25年度版〕

(期間：平成20年度～平成25年度)

中期計画				年度計画
重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
学生確保	入学者選抜方法の充実	求める学生像が分かり易く、魅力ある大学であることが積極的にアピールされている入試であること	入学者受入れ方針の明確化	※平成22年度に計画達成 ・大学・学部レベルのアドミッションポリシーの明確化および周知
			入学者選抜方法の充実	・学生募集における高校等への密接な対応
教育活動	教育・研究内容と方法の充実	学習意欲を喚起させ学習の成果が社会に貢献することを保証する教育であること	学生の質の確保	・産業界のニーズに対応した教育改善・充実整備事業 「地域力を生む自律的職業人育成プロジェクト」 ※平成24年度に計画達成 ・キャリア教育の充実と教養教育の充実 ※平成23年度に計画達成 ・成績評価、成績評価基準の明確化および周知 ・入学前学習のサポート
		授業内容が、目標を達成するための基礎となる「研究活動の成果」を反映していること	授業改善の支援体制の整備	・FD推進委員会の効果的運用 ※平成23年度計画達成 ・教室内設備機器の更新
			教育組織の充実	・大学・学部については、人材育成ニーズに応じて定期的に点検、評価し、専攻および学科の見直し等を行う
学生支援	学生生活支援の充実	授業以外の学生生活における多様化したニーズに対してサポートが充実していること	相談・助言体制の整備	※平成23年度に計画達成 ・総合相談窓口「九女ルーム」の活用 ・生活面のマナー指導強化
			経済支援の一層の拡充	※平成23年度計画達成 ・同窓会による支援事業の拡充の要請
			学生ニーズの組織的な聴取	※平成23年度に計画達成 ・学生満足度アンケートの実施
			ボランティア活動のサポート体制	※平成22年度に計画達成 ・周辺地域の小学校へのボランティア活動
キャリア支援	学生生活支援の充実	授業以外の学生生活における多様化したニーズに対してサポートが充実していること	就職活動支援の充実	・免許、資格支援体制の強化 (人間生活学科、栄養学科、人間発達学専攻、人間基礎学専攻、子ども健康学科〔幼稚園、養護〕、専攻科) ※平成24年度に計画達成 ・企業に対する人材アンケートの実施 ・雇用主による卒業生の実績評価
研究推進	教育・研究内容と方法の充実	研究活動の点検・評価を行い、競争的資金への応募や共同研究等を積極的に推進し、外部資金の獲得、地域社会との研究活動の連携強化および支援体制の構築を目指す	社会的ニーズへの対応	※平成25年度以降の認証評価に対応達成 ・認証評価および相互評価の実施 ※平成23年度に計画達成 ・評価内容の向上、改善に直接的に結びつけるシステムの整備
			授業改善の支援体制の整備	※業務・事業名を変更して教育活動に移動して実施
			研究活動の促進	※平成24年度に計画達成 ・競争的研究資金(科研費等)への応募の義務化や共同研究の積極的な推進 ※平成23年度に計画達成 ・地域社会との研究活動の連携強化および支援体制の整備 ・優れた研究活動に対する報奨制度の制定
国際化	国際化への対応	世界各国との交流が活発であること	協定校との交流拡充	・留学生支援体制の充実 学術交流の推進・学生および教員の相互交流推進
教職員	事務等の効率化・合理化	教育研究支援のための事務体制が構築されていること	事務組織の機能・編成の見直し	・効率化とサービス機能の充実を両立させた事務組織の統廃合および定員管理
			教員の人事評価	※平成23年度に計画達成 ・教員の人事評価を継続実施し、評価内容の点検、見直しにより、人事評価制度の確立を図る
	人事の適正化	教職員の採用・昇任の方針が明確に示され、かつ適切に運用されていること	教員の昇任基準の明確化	※平成22年度に計画達成 ・大学における教員の昇任基準の平準化を図る
			事務職員等の人事評価	※平成23年度に計画達成 ・事務職員の人事評価を継続実施し、評価内容の点検、見直しにより、人事評価制度の確立を図る
			評価結果の活用	※平成22年度に計画達成 ・評価結果は、給与等でのインセンティブ付与や任期付き教員の再任審査の基本的項目の一つとして、審査に反映させる等の仕組みを設ける
		職員の資質向上のための取組みがなされていること	事務職員等の人事制度	・職員の能力を十分に発揮するための人事総合制度の構築

中期計画				年度計画
重点課題	事業方針	事業目標	部局の施策	業務・事業
管理運営	管理運営の改善および効率化	管理運営体制が整備されており、適切に機能していること	効果的・機動的な運営	<ul style="list-style-type: none"> 各種委員会、会議体の在り方について見直す ※平成24年度に計画達成 管理部門と教学部門のさらなる連携を図るため、「新生教学懇談会」を開催する 学内における情報共有システムを構築するため、グループウェアの導入に向けて先進大学等の調査を実施する
		管理部門と教学部門の連携が適切になされていること	教員・事務職員等による一体的な運営	<ul style="list-style-type: none"> 学園設置大学の主要な各種委員会において、委員会の組織、委員構成等の見直しを推進するとともに、教職協働体制を強化し、教員の業務軽減を図ることによって、教員が学士課程の質保証に傾注できるようにする
	社会的責務	財務情報の公開が適切な方法でなされていること	情報公開等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ※平成22年度に計画達成 財務内容の状況に関する情報を積極的に社会に提供する
		危機管理の体制が整備され、かつ適切に機能していること	危機管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 防火・防災体制の整備
財務	財務内容の改善	財務内容の改善が図られていること	経費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> 省エネおよび節電対策の推進
			資産の運用管理	<ul style="list-style-type: none"> 中期財政計画に沿った年度予算を編成する
教育研究環境	教育研究環境の整備・充実	図書館機能が充実し利用者サービスの向上が図られていること	附属図書館の整備と活用	<ul style="list-style-type: none"> ※平成23年度に計画達成 教員と連携して学生の学習を支援するとともに、館内設備の充実を図る
		必要なキャンパスが整備され、適切に維持、運営されていること	計画的な施設整備と既存施設設備の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 施設の耐震対策、建替え計画等の検討
地域貢献	地域社会発展への貢献	地域の高等教育機関・地域交流の場として機能する	地域の生涯学習機会の充実（大学施設の開放等）	<ul style="list-style-type: none"> ※平成23年度に計画達成 公開講座プログラムの拡充 行政・地域団体との連携強化 ボランティア活動支援強化および主催事業の推進
		大学の教育研究成果を公正かつ適切に学内外に広報活動する体制が整備されていること	情報公開等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ※平成23年度に計画達成 「生涯学習研究センター人材バンク」の整備と拡充